

農畜産業振興機構が提供している野菜関連情報について

農畜産業振興機構では、ホームページを活用して次のような野菜に関する様々な情報を発信しています。

○各種制度・業務のご案内

- ・ 野菜価格安定制度など各種野菜関係制度の紹介
- ・ 大規模生産者の登録に関するご案内コーナー
(制度に加入するための条件や登録手続きの流れなどを紹介しています。)
- ・ 国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰
(国産野菜の生産拡大や利用増進に関して農林水産大臣賞等を受賞された方々の取り組みなどを紹介しています。)
- ・ 加工・業務用交流会コーナー
(加工・業務用野菜の産地と実需者を結ぶ交流会の開催内容を紹介しています。**交流会出展者の取扱品目や生産現場の概要を紹介するサイト「野菜契約取引マッチング・ゲート」も開設しました。**)

○野菜需給協議会サイト

- ・ 野菜需給協議会や参加会員の消費拡大イベント情報
(消費者団体や野菜関係団体をメンバーとする会議による野菜需給情報や消費拡大に係るイベント情報等を提供しています。**参加会員の被災地支援の取り組みも紹介しています。**)
- ・ 旬の野菜情報誌「ベジシャス」
(野菜をもっと身近に感じてもらえるよう、旬の野菜に隠された「物語・魅力・不思議」を発掘し、レシピとともに紹介しています。**6月号からは震災復興応援特集を掲載しています。**)

○野菜情報提供システム「ベジ探」

ご利用頂きやすいようリニューアルしました。

- ・ 市場情報、輸入情報の統計データ検索システム
(市場統計や貿易統計など公表統計資料のいろんな形での検索ができます)
- ・ 需給価格動向レポート
(価格や産地情報に基づく当面の需給・価格動向を月に2回提供しています)
- ・ 野菜の主産地のこの先1ヶ月の気象状況
- ・ 東京や大阪など主要4市場の価格の日別グラフ
- ・ 全国の小売価格を売り方や品目ごとの定点・定期調査結果

このほか、野菜情報誌や野菜図鑑などの情報も掲載しています。是非ご活用下さい。

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年6月20日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格動向			6月の価格動向		生育及び価格の6月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 格				
		中旬	下旬				上旬		
葉 茎 菜	キャベツ	80.35	40	52	67.2	37	・入荷見込量: 15,911t (100) ・主産地: 千葉 (50)、茨城 (20)、東京 (6)、群馬 (5)	・千葉産は生育が順調で前年を上回る出荷となり、7月初めまで出荷が続く見込み。茨城産も生育が順調で、7月半ばまで出荷が続く見込み。群馬産は、下旬から本格的な出荷となり、7月半ばにはピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		86.69	47	56	81.66	44	・入荷見込量: 3,900t (110) ・主産地: 茨城 (27)、愛知 (25)、兵庫 (21)、長野 (7)、福岡 (6)		
	ねぎ (関東: 白ねぎ、 関西: 青ねぎ)	264.1	319	347	264.1	337	・入荷見込数量: 4,217t (100) ・主産地: 茨城 (64)、千葉 (18)、輸入 (7)	・茨城産は順調な生育で2L中心の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、少なかつた前年より多いものの平年並みには届かない出荷量で推移する見込み。 ・千葉産の出荷が平年を下回ることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。	
		334.73	251	292	334.73	371	・入荷見込数量: 230t (99) ・主産地: 徳島 (24)、香川 (24)、大阪 (16)、奈良 (15)、高知 (8)、三重 (6)		
	はくさい	67.05	26	35	67.05	47	・入荷見込量: 5,336t (99) ・主産地: 長野 (47)、茨城 (38)、群馬 (14)	・長野産は順調な生育となり平年並みの出荷となる見込み。茨城産も生育は順調だが出荷の終盤を迎え減少傾向。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並み又は弱含みに推移する見込み。	
		82.06	56	75	82.06	84	・入荷見込量: 2,800t (106) ・主産地: 長野 (64)、茨城 (21)、		
	ほうれんそう	376.1	394	427	376.1	418	・入荷見込量: 1,663t (99) ・主産地: 群馬 (30)、茨城 (22)、栃木 (16)、岩手 (14)、埼玉 (8)	・群馬産は産地の切り替わりに伴う出荷の谷間になっていることから、やや少なめの出荷になっている。茨城産も曇雨天の影響で、やや少なめの出荷となっている。 ・群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は高めながら平年並みに近づく見込み。	
		396.89	410	477	396.89	478	・入荷見込量: 500t (91) ・主産地: 岐阜 (73)、北海道 (10)、奈良 (7)		
	レタス	164.45	101	115	126.45	144	・入荷見込量: 8,112t (100) ・主産地: 長野 (69)、群馬 (19)	・長野産、群馬産ともに準高冷地から高冷地への出荷の切り替わりの時期となっているが生育は順調で、平年を若干上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		173.68	105	125	132.22	176	・入荷見込量: 1,900t (105) ・主産地: 長野 (91)、兵庫 (7)		
	たまねぎ	71.02	77	57	71.02	58	・入荷見込量: 11,922t (110) ・主産地: 佐賀 (59)、香川 (9)、兵庫 (9)、輸入 (3)、愛知 (2)	・佐賀産は梅雨の影響で収穫作業が1週間程度遅れているが、玉肥大は順調で平年並みの出荷の見込み。香川産も梅雨の影響で1週間程度収穫作業は遅れているが玉肥大は回復傾向で、前年並みの出荷の見込み。 ・府県産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。	
		71.02	65	59	71.02	65	・入荷見込量: 3,400t (90) ・主産地: 兵庫 (58)、佐賀 (28)、大阪 (7)		
果 菜	きゅうり	189.84	198	257	189.84	342	・入荷見込量: 7,649t (98) ・主産地: 埼玉 (32)、群馬 (15)、茨城 (12)、福島 (12)、千葉 (9)、栃木 (6)	・埼玉産は作柄が順調で、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、切り上がり時期となり出荷量は減少傾向。 ・関東産の平年より早めの切り上がりが見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		177.22	197	257	177.22	317	・入荷見込量: 1,600t (84) ・主産地: 宮崎 (30)、福島 (10)、愛媛 (10)、高知 (9)、徳島 (8)、香川 (8)、北海道 (6)		
	トマト	209.6	238	226	209.6	295	・入荷見込量: 9,490t (105) ・主産地: 栃木 (19)、茨城 (17)、千葉 (14)、愛知 (11)、熊本 (9)、群馬 (7)、埼玉 (5)	・栃木産はやや小玉傾向ながら、平年より多めの出荷量となっている。茨城産は曇雨天の影響でやや少なめの出荷となっていたが、生育が回復し平年並みの出荷の見込み。 ・関東産の夏秋ものが遅れていることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。	
		228.5	210	220	228.5	291	・入荷見込量: 1,900t (111) ・主産地: 熊本 (23)、愛知 (15)、福岡 (14)、北海道 (13)、石川 (10)、徳島 (7)		
	なす	297.1	303	306	297.1	410	・入荷見込量: 4,205t (98) ・主産地: 高知 (28)、群馬 (17)、福岡 (17)、茨城 (10)、栃木 (8)、埼玉 (6)	・高知産は平年より低めの気温の影響で平年より小玉傾向の出荷となり、今月いっぱいの出荷の見込み。群馬産も、低めの夜温の影響で出荷量が少なめで推移しており、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。	
		285.3	267	288	285.3	354	・入荷見込量: 1,150t (110) ・主産地: 大阪 (25)、高知 (21)、福岡 (13)、岡山 (13)、熊本 (10)、奈良 (8)		
	ピーマン	308.36	218	238	251.5	454	・入荷見込量: 2,408t (103) ・主産地: 茨城 (90)	・茨城産は、越冬ものの出荷がピークを超え今後は減少傾向で推移する見込み。 ・茨城産の出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。	
		283.1	192	220	253.95	423	・入荷見込量: 360t (100) ・主産地: 宮崎 (41)、高知 (27)、和歌山 (16)、大分 (8)		
	根 菜	だいこん	91.15	57	75	91.15	75	・入荷見込量: 8,633t (100) ・主産地: 青森 (52)、千葉 (32)、北海道 (6)	・青森産は、トンネル栽培から露地ものに切り替わり、順調な出荷となっている。千葉産は、中旬で出荷終了。北海道産の出荷も開始となった。 ・青森産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
			104.71	44	64	104.71	75	・入荷見込量: 2,600t (90) ・主産地: 青森 (33)、長崎 (18)、北海道 (15)	
		にんじん	156.99	134	116	133.01	125	・入荷見込量: 6,407t (102) ・主産地: 千葉 (72)、埼玉 (15)、輸入 (3)	・千葉産は生育が順調で肥大が進み、前年より多めの出荷量となっている。出荷の終盤を迎えているが、しばらくは前年よりは多めの出荷量で推移する見込み。 ・千葉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
			156.17	117	99	139.6	108	・入荷見込量: 2,200t (103) ・主産地: 長崎 (33)、和歌山 (24)、徳島 (13)、愛知 (8)、宮崎 (8)、兵庫 (7)	

種類	5月の価格動向			6月の価格動向		生育及び価格の6月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	
		中旬	下旬			
い	-			344	802	・入荷見込量：363t ・主産地：鹿児島(47)、宮崎(38)、千葉(9)、埼玉(5)
	-			347.9	1009	・入荷見込量：94t ・主産地：鹿児島(54)、愛媛(13)、沖縄(8)、宮崎(5)
も	131.8	208	198	131.8	197	・入荷見込量：8,977(105) ・主産地：長崎(47)、静岡(17)、千葉(12)、茨城(9)、
	131.8	265	205	131.8	206	・入荷見込量：3,900t(95) ・主産地：長崎(60)、北海道(18)、静岡(8)

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価格の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

年	1 生鮮野菜の購入量及び金額				2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移									
	過去5か年平均		平成22年		平成23年		キャベツ		レタス					
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101	149	164	110	315	317	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103	159	166	104	449	536	119
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101	153	155	101	472	515	109
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95	146	192	132	419	668	159
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0	129	265	205	339	520	153
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0	127	185	127	456	393	86
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0	189	186	98	618	502	81
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0	173	228	132	496	635	128
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0	181	206	114	455	435	96
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0	250	195	78	464	348	75
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0	185	123	66	399	296	74
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0	159		0	360		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

区分	野菜等の輸入数量の推移について				主な野菜の輸入動向			
	平成21年		平成22年		平成23年1~4月		平成23年4月	
	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比			
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	378,261	130	118	
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	586,128	110	102	
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	964,389	117	107	
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	469,341	123	110	
中国産シェア	50		51		49			

資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」(2011.5)は、5月末日までの速報値である。

4 トピック

キャベツの価格低迷について

キャベツの価格低迷が続いている。3月までは冬場の低温、少雨の影響で、平年より価格が高めで推移していたが、4月以降は天候の回復に伴い、各産地とも順調な生育となり価格安となっている。

今後の需給動向について関係者に聞き取りを行ったところ、需要は価格安を反映して順調であるものの供給は野菜の生育に適した天候が続いており需要を上回る出荷量となる見込み。

気象庁の長期予報によると今後も主産地の天候は順調であることから、しばらくは需要を上回る供給が見込まれ、価格が低い状態が続くと思われる。

東京都中央卸売市場におけるキャベツの産地別入荷量の推移

資料：青果物情報センター

東京都中央卸売市場における旬別入荷量

需給動向

供給	・6月までが主産地の千葉産は好天に恵まれ、順調な生育、出荷となっている。出荷の終盤を迎えているが、今月末から来月初めにかけは平年より多めに出る見込み。 ・7~9月の東京都中央卸売市場の6~8割を占める群馬産は、これから本格的な出荷となり、7月半ばにはピークを迎える。好天に恵まれ、根の活着もよく生育が良好で平年より少し多めの出荷量を見込む。
需要	・総務省の家計調査によると、家計消費は堅調で、量販店の売り上げも価格安を反映して順調。 ・早めに帰宅する人が多く、外食産業全体では需要が弱まる傾向にある一方で、中食は順調である。

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました! (直接契約課)】

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01_000076.html

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

野菜 (vegetable) を知って美味しく (Delicious) 食べよう



ベジシャス

野菜ソムリエの旬ナビゲーション
第6号 2011.6



東日本大震災により被災された皆様及びご家族の皆様にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
今月からは被災地で頑張る生産者の姿を中心に旬の野菜をご紹介します。



今月の特集は栃木県の**トマト**

「トマトが赤くなると医者が青くなる」という有名なことわざがあります。

トマトの赤い色素・リコピンには強力な**抗酸化作用**があり、肌や皮膚を若々しく保ち、がん予防に効果が期待できます。

また、**ビタミンC**や、**ビタミンB6**、整腸作用のある**ペクチン**、高血圧を防ぐ**カリウム**や**ルチン**なども含みます。

さらに、**クエン酸**や**リンゴ酸**などの独特の酸味が胃液の分泌を促すので食欲が低下しがちな夏場に**食欲を増進**させる効果も期待できます。

○産地潜入ルポ

2011年5月23日(月)栃木県宇都宮市の川上守さん(62歳)の圃場に向かいました。

トマトの周年供給が"JAうつのみや"の強み
～停電の中ハウスの温度管理に苦勞しました～

◆厳しい寒さがトマトを直撃！ストレスでチャック果が急増。

震度6強の地震が発生したとき川上さんはハウス内で作業中でした。ハウスは無事でしたが、自宅は屋根瓦が落ちてしまい建て直しを余儀なくされています。

さらに、震災後の計画停電の影響でハウス内のカーテンの開閉ができなくなりました。そのため、定植後の花芽がついたばかりのトマト苗を寒さが直撃。

その影響は「チャック果」として痛々しく残っています。

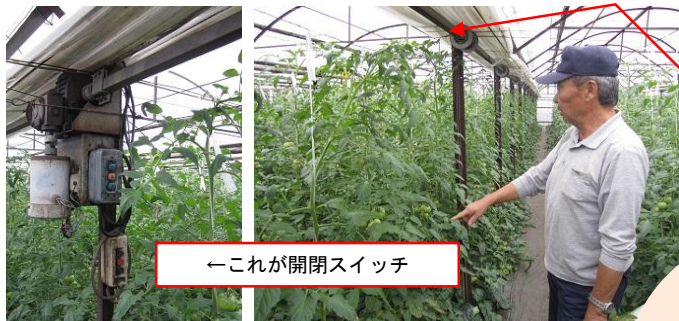
◆激しい揺れで選果場が崩壊

激しい揺れは選果場のデリケートな装置を破壊しました。

近隣農協では選果場が1か月ストップし、収穫しても出荷ができないという状況が続きました。



「チャック果」と呼ばれるトマト。味や香りには影響がないものの、D級品として市場に出荷されます。



←これが開閉スイッチ

震災直後の停電でこの保温用カーテンが開まらなくなりました。
停電で真っ暗のなか懐中電灯を口にくわえながら手ですべてのカーテンを閉めました。
その面積、約1,000坪！
大人3人で夜中までかかる作業でした。

震災後も休むことなくトマトを作り続けています！
様々な被害がありましたが、現在は回復し、毎日、頑張って収穫、出荷しています。
これからも、栃木県のトマトを応援してください。



◆ガソリン不足の影響で...

また、ガソリン不足により市場からの配送が滞り、東京の市場に**トマトがあふれ、値段が暴落**するという影響も出ました。

トマト熟度は、着色の度合で10段階に分けられています。
真っ赤なトマトをお届けするためには収穫のタイミングが重要です。
長年の経験と勘で勝負しています！



【Premium7】
通常のトマトは糖度5程度ですがPremium7ではフルーツ並みの糖度7以上。
これからも美味しいトマトを集めてお届けしていきます。



【JAうつのみやのトマト出荷時期と作型】

宇都宮市のトマト栽培は歴史が古く、戦後昭和23年頃に始まりました。
越冬、春、半促成、夏秋、抑制の5作型で周年供給できることがJAうつのみやの強みです。
ぜひ、栃木県のトマトをご賞味ください。

出荷時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬												
春												
半促成												
夏秋												
抑制												

【シニア野菜ソムリエ's レポート】

「屋根瓦が雨のように降っていた」と淡々と話される川上さん。色々な苦勞のなかで生産を続けている姿を拝見し感謝の気持ちで一杯になりました。

※ウェブサイトにはフォトクリップも掲載しています。

http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON

【トマトのそうめんつゆ2種】



トマトの旨みがぎゅっと詰まった
野菜たっぷりヘルシーそうめん！

トマト1個で2種類のつゆを作ります。
麺を茹でる間に、「野菜たっぷりつゆ」を作ります。

イタリアン風ホットトマトつゆ(1人分)

- トマト 半分
- バジルの葉 2枚
- にんにく 半かけ
- オリーブオイル 大さじ1/2
- バルサミコ酢 大さじ1
- めんつゆ(3倍濃縮) 大さじ1.5
- 水 大さじ3

①トマトは1cmの角切り、バジルの葉は粗みじん切り。にんにくはスライスにする。

②フライパンにオリーブオイルとにんにくを合わせ入れ、弱火で香りが出るまで加熱する。



③ ②にめんつゆと水を加え、ひと煮立ちさせたら火を止めバルサミコ酢を入れる。器に移し、トマトとバジルを加えて完成。



バルサミコ酢は穀物酢でも代用可能です。お酢の疲労回復効果も期待できます。



和風トマトつゆ(1人分)

- トマト 半分
- きゅうり 3cm
- たまねぎ 1/8
- みょうが 半分
- しそ 1枚
- 白ゴマ 適量
- めんつゆ(3倍濃縮) 大さじ1.5
- ごま油 少々



①トマトはおろし金などですりおろし、ごま油とめんつゆを加える。

②きゅうり、たまねぎ、みょうがは1cmの角切りにし、しそは千切りにする。



③ ①に②を加え、好みで白ゴマをトッピングしたら完成。

水は加えません。すりおろしたトマトとめんつゆだけで味を整えます。



完成



【レシピ担当】

中山 晴奈 <http://nextkitchen.net/>

ネクストキッチンとして美術館や博物館で食を使ったコミュニケーショングラフィックデザインや出張料理、ワークショップなどを行う。地域支援の現場にも携わり、食を通じた新たな社会イノベーションの創出にも取り組み、調理専門学校や美術大学講師もつとめている。5月より日帰りの田植えツアー(長野県)や、こどものフード・ワークショップ(都内)を開催予定。

【シニア野菜ソムリエY's レポート】

トマトの旨みは昆布と同じ「グルタミン酸」。かつおダシとの相性抜群です。

暑い夏場はなるべく加熱調理を避けたい！
これなら、短時間で野菜たっぷりの1品ができますね。

〇6月～トマトの出荷量がピークを迎えます！ 栃木県のトマトも最盛期です。

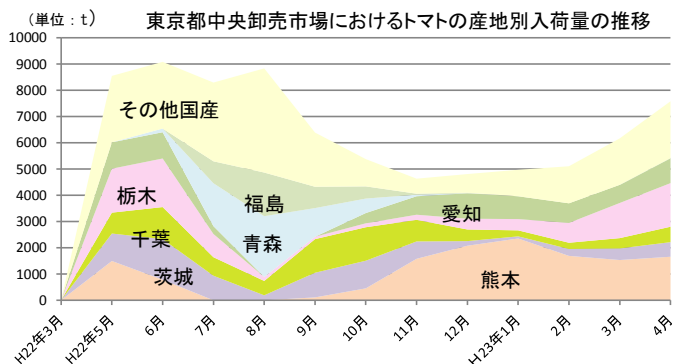
「JAうつのみや」では、4月5日に宇都宮中央卸売市場で地産農産物の販売促進活動を行いました。

「放射性物質の検査を受け、安全が確認された農産物でも、栃木産というだけで販売単価の下落を招いている。」と訴え、風評被害に苦しむ生産者を支えるため、流通関係者に協力と支援を呼び掛けました。

野菜需給協議会でも、市場には安全なものしか出回らないことを広くアピールするとともに、被害を受けている産地を中心とした国産野菜の消費拡大のための取組みを継続的に実施するよう関係者に呼び掛けてまいります。

【野菜需給・価格レポート】 <http://vegetan.alic.go.jp/>

〇次号は震災復興特集第2弾として福島県の皆さんが頑張っている姿をお伝えする予定です。



資料: 東京青果物情報センター

【野菜に関する疑問＆質問にお答えします！】

Q: 原発事故の影響による出荷制限はほうれんそうやキャベツなどの葉もの野菜に多いのはなぜですか？ (東京都Kさんからの質問)

A: 放射性物質は細かい粉じんと一緒に空中から落下し、葉の表面に付着すると考えられています。葉面が上を向いて広がっているほうれんそうなどは、比較的高い濃度の放射性物質が検出される可能性が高く、また、暫定規制値は重量当たりで表されるので、同じ重さで比較した場合、表面積が大きくて軽い野菜ほど高い数値となる可能性があります。心配な場合は「洗う」「煮る(煮汁は捨てる)」さらに「あくぬき」をすることで、放射性物質はかなり除去できます。

※ALICサイト内にもQ&Aがまとめられておりますのでご参照ください。

「放射性物質とその野菜への影響等について」 <http://www.alic.go.jp/content/000070590.pdf>

■編集後記

トマトを丸ごと使ったそうめんつゆは絶品です！ぜひ、ご家族でお試し下さい！(Y)

震災にもめげず、トマト生産にすべてをかける姿に触れ、栃木産のトマトに愛着が生まれました。(S)

■取材協力

JAうつのみや <http://www.jau.or.jp/>

■当誌面におけるすべてのコンテンツは、当機構が著作権その他の一切の権利を有します。

■転載、引用する場合は右記、事務局までご連絡下さい。

■発行元: 野菜需給協議会

事務局: 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部需給推進課

電話: 03-3583-9478

FAX: 03-3583-9484



■野菜の疑問、質問、解決します！

疑問、質問を募集しております！

こちらまでご連絡下さい！

vegeciuous@alic.go.jp